



# 第1回研究会の議論について (振り返り)

令和5年3月17日  
共生推進本部室



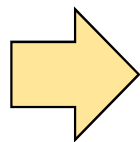
# 1 ともいきメタバーズ研究会の位置づけ

○このプロジェクトの位置づけを明確にして欲しい

A 研究開発：何らかの知見が得られれば良い。その成果は公開して、県庁の施策または県下の企業や団体に活用してもらおう。

B 広報・集客：一時的に集客して、県からのメッセージを伝えられれば良い。

C 事業化：県の施策として継続的に実施し、関連産業の振興に寄与する。



幅広に議論したい。(あえて詳細なアジェンダを設定せず、どこに照準を当てるのかから話し合いたい。)

ただし、当該議論に並行して、2つの事業を試行し、その効果検証をしながら、次年度施策の検討にも活かしたい。

## 2 当事者が感じている“生きづらさ”について

### ①「就労以前の社会参加(交流)」

- 社会参加というと、健常者の感覚ではすぐに就労となると思うが、重度身体障がい者にとっての社会参加はあり、就労以前に余暇活動等の外出すら難しい状況【高野委員】
- いきなり就労支援は難しい。自己肯定感を高め、コミュニケーションを克服するところからスタートしなければうまくいかない。その先に就労支援があってもよいだろう。【トキワ委員】

### ②「自己肯定感」

- 自己肯定感が極端に下がり、常に自己嫌悪との闘い。【トキワ委員】

### ③「孤独・不安」

- 病気や障がいでの外出が困難な方は社会とのつながりがなく、不安や孤独感を感じることも多くある。【岡村委員】

### ④「就労」

- 病気の前は販売員になることが夢だったが、難病で外出が困難になり、諦めた。【岡村委員】

## 2 当事者が感じている“生きづらさ”について

### 必要な施策

① 社会参加や交流できる機会の提供

② 自己肯定感の向上につながる取組

③ 不安や孤独感の解消

④ 就労の場の提供

### 3 メタバーズの活用について

#### ①交流のツールとしての活用

- 同じ病気や障がいを抱える人ともっと交流できる機会があるといい【岡村委員】
- 自分の見た目に自信がない人も、アバターでの交流であればなりたい自分像で交流できるのではないか。【岡村委員】
- 就労につながるような講習会や技術習得のための場があって、生徒さん同士のコミュニケーションが生まれるといい。【トキワ委員】

#### 【試行的事業①ともいきメタバーズ講習会】

○障がい者等を対象に、メタバーズの技術等を学べる講習会を対面で実施する(+オンライン)

対象イメージ: 基本的なPC操作ができる障がい者

#### 【試行的事業②ひきこもり×メタバーズ事業】

○相談に繋がっていないひきこもり当事者を含む青少年を対象に、多くの利用者呼び込めるイベントを開催し、他者との交流機会等を創出する。

### 3 メタバーズの活用について

#### ②自己肯定感向上の場としての活用

- すぐに就労につながらなくても趣味の作品を披露し共有する中で仲間がつくれるといい。
- 就労につながるような講習会や技術習得のための場があって、生徒さん同士のコミュニケーションが生まれるといい。【トキワ委員】

#### 【試行的事業①ともいきアート美術館】

○ともいきアートや技術習得支援講習会で制作した作品をメタバーズ空間上に展示する「ともいきアート美術館」を開催する。

(下半期 2週間×2回予定)

#### 【試行的事業②ひきこもり×メタバーズ事業】

○ひきこもり当事者の社会参加、就労に結び付くコンテンツを発信していく。

## 3 メタバーズの活用について

### ③ 不安の解消の場としての活用

○相手から非難されずに、ざっくばらんに自分の状況の話を聞いてくれる場所がある  
といい。【トキワ委員】

○外出困難だと社会とのつながりが希薄になりがち。不安や孤独感を感じることもある。  
【岡村委員】

○必要な支援を受けるために役所に何度も足を運んだ。バーチャル区役所などがあると  
外出困難な方も相談しやすいのではないか。【岡村委員】

### 【試行的事業②ひきこもり×メタバーズ事業】

○令和5年度の事業を踏まえ、アバターの姿で相談や参加者同士のピアサポートなどを  
検討。

(令和5年度の事業の中で、メタバーズ空間上でLINE相談窓口のリンク掲載などを行う)

### 3 メタバースの活用について

#### ④ 就労の場としての活用

○バーチャルマーケットが普及すれば、その中で販売員(アバター接客)として働くこともできるかもしれない。【岡村委員】

○スマートフォンやパソコンなどのデバイスを通してバーチャルでお客様に接客するサービスは、デパートやアパレル業界などで導入が始まっている。

#### 【試行的実施事業②ひきこもり×メタバース事業】

○アバターによる接客業など、メタバースの普及で新たに生まれる働き方についての情報提供を実施していく。





## 4 その他

### 仮想空間の運用に係る留意点

○ファンサービスのような形で、様々なコミュニケーションを生み出していくという方向性で進めていけると、どんなテーマでも対応できるような形で広げていけると思う。【奥出会長】

○いきなりコミュニティリードできる人を求めるのは難しい。もっと自然に能動的にかかわれる方が参加を引き出しやすいし、新しい役割を発見できるのでは。【増田委員】

○2つの試行的事業を実施するにあたり、コミュニケーションの生み出し方や不適切な行為があった場合の対応など運用の方法を検証する。